

会 議 録

| | | | |
|--|---|-----|--------------|
| 会議の名称 | 平成28年度第1回笠間市教育振興基本計画策定委員会 議事録 | | |
| 開催日時 | 平成28年6月30日(木) 午後3時30分～午後5時35分 | | |
| 開催場所 | 笠間市役所教育棟 2階 会議室2-1・2-2 | 事務局 | 教育委員会学務課 総務G |
| 会議の公開 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由> | | 傍聴者数 0人 |
| 出席者 | 出席委員：渡邊洋子委員、梁瀬浩幸委員、藤岡理香委員、川崎幸良委員、 井川省史委員、大関賢一委員、森田正男委員、木村友明委員、内田幸枝委員、 志摩邦雄委員、田村和己委員、町田満委員、大月裕美委員、鷹松丈人委員、 小田野恭子委員【15名】 教育委員会：今泉教育長 事務局：9名 | | |
| 議 題 | 平成28年度第1回笠間市教育振興基本計画策定委員会 | | |
| 議 事 (審議経過及び発言内容) | | | |
| <p>【配付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会等の会議の公開に関する指針 ・笠間市教育振興基本計画設置要綱(資料1) ・笠間市教育振興基本計画策定委員会名簿(資料2) ・笠間市教育振興基本計画の概要について(資料3-1) ・策定スケジュール(案)について(資料3-2) ・アンケート調査について(資料3-3) ・「茨城県教育大綱」と「いばらき教育プラン」との関係 ・笠間市教育振興基本計画に係るアンケート調査の実施について ・アンケート調査票見本(児童・生徒用、保護者用、教職員用、一般市民用) ・笠間市教育大綱との設問対応表 ・笠間市の教育行政について <p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状及び任命書の交付 今泉教育長より委員各位へ委嘱状及び任命書の交付が行われた。</p> <p>3. 教育長あいさつ</p> | | | |

4. 策定委員会委員の自己紹介

5. 事務局職員及び委託業務受託者の自己紹介

6. 策定委員会委員長・副委員長の選出

事務局より、委員長に渡邊洋子委員、副委員長に志摩邦雄委員を推薦する案が示され、全会一致で承認された。

7. 策定委員会委員長あいさつ

8. 協議事項

(1) 策定委員会の会議の公開について

(2) 事務局説明

- ①策定委員会設置要綱について
- ②策定委員会委員の構成について
- ③笠間市教育基本計画の概要について
- ④策定スケジュール(案)について
- ⑤アンケート調査について

(3) 意見交換

【質問・意見等】

委員：児童・生徒向けへのアンケートについて、児童・生徒の総数およびその内の何パーセントの児童・生徒が対象になっているのかを教えてください。また、一般市民へのアンケートは調査対象の年代別の区分をどのように振り分けているのか。

事務局：説明に不備があり、申し訳ない(この後、資料3-3に基づいて説明が行われた)。一般市民のアンケートについては無作為抽出のため、年代別の区分はない。なお、こちらは企画政策課が行う合併検証のための住民アンケートに乗せる形で実施される。

委員：今回の調査では特別支援学校も対象とするのか。

事務局：対象となる児童・生徒の中に特別支援学級に在籍する子が数名含まれているが、特別支援学校自体は今回の対象に含まれていない。

委員：児童・生徒用アンケートの間1で、選択肢が「女」「男」の順番になっているが、これは意図があつてのことか。また、保護者用のアンケートの「調査票のご記入にあたって」にある「担任教諭」という部分だが、これは「担任の先生」という表記が良い。

保護者用のアンケートの提出には封筒等は用いるのか。封筒を用いた方が、自由記述欄に率直な意見を記入してもらいやすいと思う。また、期限を過ぎて提出された調査票についてはどのように取り扱うのか。

事務局：指摘頂いた修正点については修正する。児童・生徒用のアンケートについては、一クラスごとに大きな封筒にまとめて回収するつもりでいた。保護者用も特に封入することを考えていなかったが、自由記述欄のことを考えると、検討する必要があると思う。また、スケジュールについては先ほどの指摘の通り、7月6日にアンケート配布、7月15日に回収の予定である。期限を越えても7月20日までに提出された分については回収する。

委員：児童・生徒用アンケートの間11の設問文で「次のような活動」とあるが、そこを「次のような体験活動」に修正してほしい。

事務局：ご指摘の通り修正する。

委員長：封筒についてはどのように取り扱うか、委員の皆さんに伺いたい。

委員：封入した方が良いと思う（※全員この意見に賛同する）。

委員長：では、委員会としては封筒の使用をお願いしたい。

委員：一般市民向けのアンケートで学校教育についての設問がないのはなぜか。一般市民用にも学校教育についての設問を入れた方が、学校教育の状況を多角的に把握できるいい資料になると思うのだが。

事務局：他のアンケート（児童・生徒用、保護者用、教職員用）から一般市民にも質問できる内容を抽出し、一般市民用に反映させたい。

委員：教育大綱との設問対応表を見ると、設問が少ない分野と多い分野がある。このようなばらつきがあるのはなぜか。

事務局：過去に実施したアンケートの結果等、既存データがあるものに関しては設問を少なくし、ないものについては設問を多く設定しているため、ばらつきがある。

委員長：児童・生徒用の問4、「学校でどんなときに楽しいと感じますか」という設問で、「授業中」と答える児童・生徒の割合は圧倒的に少ないのではないか。だからと言って、行われている授業がつまらないと評価することはできない。このように、数字がひとり歩きしてしまうと分かる設問は良くないのではないか。また、この設問から何を知りたいのか、何が明らかになるのかが不明瞭である。

教職員用の問7で「学習指導以外に」と設問文にあるのに対し、選択肢に「放課後や夏休みなどに補習すること」とあるのは不自然な印象を受ける。

事務局：児童・生徒用の問4については検討する。教職員用の問7については「学習指導以外」ではなく、「通常の授業以外に」と修正をする。

委員：対象に含まれる特別支援学級に在籍する児童に対しては、アンケート回答の際に配慮をしてほしい。

事務局：そのように対応する。

副委員長：そもそも性別を尋ねる質問が必要なのかどうか。回答しても、計画にどう反映されるかが分かりづらい。回答してもらうのであれば「計画のこの部分につながる」というように説明責任を果たせるようにしておかなければならない。

保護者用の問19について。地域の教育力について問われても、保護者には難しいのではないか。この場合の「地域」というのが人を指すのか、環境・空間を指すのか、あるいはその両方を指すのかが見えない。保護者に対する啓蒙にもなるので質問する意義はあると思うが、保護者は地域の教育力というものをきちんと理解しているかどうか。保護者の理解力も考慮してほしい。

委員：資料3-1の図の中において、総合計画の事業アクションプランと教育振興基本計画の事業アクションプランのように、同じ色で示されているもの同士はそれぞれ対応していると考えて良いか。また、地方創生の重点プロジェクトと教育振興基本計画との関連性を教えてほしい。

事務局：同じ色のものはそれぞれ対応している。また地方創生に係る総合戦略の中で、教育の分野でも重点プロジェクトと位置づけられている部分があるため、そことも整合性を図りながら計画を策定していく。

委員：計画に地方創生の重点プロジェクトを盛り込むとすると、計画は教育施策大綱と少し違ったものになると考えて良いか。

事務局：計画は、市長が定めた教育施策大綱に肉付けをしたもの(=第1階層・第2階層)に加え、第3階層として事業アクションプランを置く形で考えている。

委員：アンケートの結果(数値)の公表は予定しているか。また(通う学校を尋ねる設問が含まれていることから)それぞれの学校にも数値を開示するのか。保護者にもアンケートを依頼する以上、何らかの形で結果の公表が必要になると思われるが。

事務局：アンケート全体での配布数・回収率などは公表するつもりでいる。また、学校ごとの数値については、クロス集計を利用して算出できるため、公表できるものについては極力公表する方向で考えている。

9. その他

(1) 笠間市の教育行政について

- ・今泉教育長より資料に基づいて説明。

(2) 次回策定委員会の日程について

- ・次回の開催日程は10月下旬を予定し、時間は15時30分より開始する。詳細は決定次第、改めて通知する。

10. 閉会

以上